東海公衆衛生雑誌 投稿規定 2018

1. 論文形式の投稿について、査読を行った上で有料にて、東海公衆衛生雑誌に掲載します。
2. 投稿の内容としては、研究報告、公衆衛生活動報告、総説、論壇等とします。分量は内容に関わらず、刷り上がりの状態で原則として 2 ページ以上、10 ページ以内とします。1 ページは概ね 2,000 文字弱に相当します。ある地域・集団における調査の記述的な報告や、公衆衛生活動の実践的な報告を歓迎します。
3. 投稿する言語は、日本語とします。また日本語の要旨に加えて、英語の Abstract の掲載も可能です。ただし英語 Abstract の掲載を希望する方は、投稿前にご自身で英語を母国語とする方の校正を受けて、それを証明する書類を投稿時に提出してください。
4. 第 1 著者は東海公衆衛生学会会員とします。また、別に連絡責任著者がいる場合には、そちらも東海公衆衛生学会会員とします。
5. 他誌に発表された原稿（印刷中、投稿中も含む）の投稿は認めません。同じ年度の東海公衆衛生学会を含めて、学会発表との重複は差し支え有りません。
6. 投稿は、原稿を編集委員会にメールで送付して下さい。休日を除いて 3 日以内に原稿受領の返事が無い場合には編集委員会にお問い合わせ下さい。本年度は 3 月 15 日までに投稿された原稿について、その年の掲載についての査読等を行います。また、1 月 15 日までに投稿された原稿に限り、掲載料を 40%割引します。なお、一度投稿された原稿の差し替えには応じません。
7. 投稿原稿の執筆要領は、引用文献の書き方なども含めて日本公衆衛生雑誌に準じます。なお、刷り上がりの体裁での投稿も歓迎します。原稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお送り下さい。図表については、Microsoft Excel、Power Point ファイルでも結構です。
8. 投稿にあたってすべての著者は投稿時に、「東海公衆衛生雑誌 投稿時 COI 自己申告書」を提出し、申告書の内容を謝辞等に記載してください。COI 状態がない場合も、謝辞等に「開示すべき COI 状態はない。」などの文言を記載し、自己申告書を提出してください。
9. 投稿された原稿は、査読者および編集委員会による査読を行います。投稿に当たって、査読候補者 1～2 名を、所属、メールアドレスを付記して推薦して下さい。ただし、査読者の決定は最終的には編集委員会において行います。
10. 編集委員会は投稿原稿について修正を求めることがあります。修正を求められた原稿は指定された期限までに再投稿して下さい。その際には、指摘された事項に対応する回答を別に付記して下さい。
11. 投稿料は不要ですが、掲載料は刷り上がり 1 ページ当たり 1 万円とします。採択通知の後、指定された期限までに払い込みをして下さい。
12. 掲載用にレイアウトした原稿を、採択通知の後、指定された期限までに編集委員会に送付して下さい。編集委員会ではページ番号を修正した上で、原則としてそのままの状態での印刷します。採択後の内容修正は認めません。なお、白黒印刷のみとし、カラー印刷はできません。
13. 雑誌全体について PDF 形式で東海公衆衛生学会ホームページ等に掲載します。また、医学中央雑誌、国立国会図書館等に送付します。
14. 論文の別刷りは編集委員会では作成しません。必要な場合は、ホームページ掲載の PDF フ

ファイルから著者が作成して下さい。

15. 掲載論文の著作権は東海公衆衛生学会に帰属します。著作権委譲承諾書を提出していただきます。

<東海公衆衛生雑誌編集委員会>

平成 30 年発行担当

編集委員長：浜松医科大学健康社会医学講座 准教授 中村美詠子

編集委員：三重大学医学部客員教授、洗心福社会美杉クリニック院長 田島和雄

編集委員：名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野 教授 鈴木貞夫

編集委員：藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学講座 准教授 太田充彦

編集委員：浜松医科大学健康社会医学講座 助教 柴田陽介

投稿・問合せ先：東海公衆衛生学会事務局：渡邊

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学教室内

E-mail : tokai-ph@med.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-744-2132 Fax: 052-744-2971